

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20015
課題名	先天性胆道拡張症に対する人工腸弁付加胆道再建法を用いた術式と術後胆管炎の検討
研究期間	西暦 2020 年 6 月 10 日 ～ 2021 年 3 月 31 日
研究の対象	1983 年 4 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までの間に先天性胆道拡張症と診断され、根治手術を施行された患者さん
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、病歴、治療内容、検査結果、画像診断結果、手術記録、病理検査結果、診療録） ☐ 試料：手術で採取した組織（対象臓器等名：）
研究の意義、目的	先天性胆道拡張症（CBD）は、胆道閉鎖症（BA）と比較して比較して術後経過良好な疾患とされますが、CBD に対する分流手術の合併症として、胆管炎、縫合不全、出血、膵炎、腸閉塞（イレウス）、膵液瘻、および発癌が挙げられます。当科では術後胆管炎防止目的として人工腸弁付加 Roux-Y 法を取り入れておりその成績について評価検討します。
研究の方法	1983 年 4 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までの期間で、小児期に先天性胆道拡張症の診断をされた患者さんについて、主にカルテを用いた診療情報・画像情報、血液検査所見を検討します。
その他	本研究の実施に際しては特に資金を必要としません。 本研究は企業や団体とのかかわりは無く開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒078-8510 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 旭川医科大学 外科学講座血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 電話 0166-68-2494 FAX 0166-68-2499 研究責任者： 旭川医科大学外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 講師（学内） 宮城 久之